

CELLiST™ BASAL Medium (Model No. BASAL10)

品名	型番	包装	内容量
CELLiST™ BASAL Medium	BASAL10	1 L 用 アルミニウムパウチ	24.3 g

製品の特長

- 成分が既知（Chemically-defined）であり、かつ動物由来成分を含みません。
- 加水分解物などの組成が不明な成分を含みません。
- 成長因子類などのタンパク質を含みません。
- ヒポキサンチンおよびチミジンを含みません。
- L-グルタミン源を含みません。
- 炭酸水素ナトリウムおよびポロキサマーを含みません。
- 7.5 g/L のグルコースを含みます。

保管条件

液体調製前の粉末培地は、暗所の冷蔵（2-8℃）にて高い湿度を避けて保管してください。液体調製後は、暗所の冷蔵（2-8℃）にて保管してください。

液体培地の調製方法

表 1. 1 L 調製時の各種パラメータ

培地 粉体重量	ポロキサマー 188	炭酸水素 ナトリウム	水	pH*	浸透圧*	調製後 培地重量	比重 (室温)
24.3 g	1.0 g	1.8 g	986 mL (986 g)	6.9-7.3	290-310 mOsm/kg	1010 g	1.01

*参考値

- 適切な容器と攪拌子を準備します。重量ベースで調製する場合には、容器と攪拌子の重量を測定してください。
- 容器に 90% 容量（900 mL）程度の細胞培養グレードの水（室温）を入れます。
- 本品パウチの全量（24.3 g）を容器に加えます。少量の細胞培養グレードの水をパウチに入れ、パウチに残った本品を容器に洗い込みます。
- 1.0 g のポロキサマー-188 および 1.8 g の炭酸水素ナトリウムを添加します。
- 本品が完全に溶解するまで約 20 分攪拌します。
- 細胞培養グレードの水で最終容量（1 L）に調整し、均一になるまで約 10 分攪拌します。この時、表 1 に従い重量ベースでのメスアップも可能です。
- pH、浸透圧を確認します。
- 無菌条件下で 0.20-0.22 μm 孔径のフィルターを用いてろ過滅菌します。
- 使用まで暗所にて冷蔵（2-8℃）保管します。
- 使用直前に 2-6 mM の L-グルタミン源を添加します。また必要に応じて、成長因子類（インスリンや IGF-I など）を適宜添加します。

用途

- 本製品は研究用途に使用される培地です。それ以外の目的には使用しないでください。
- 製造へのご使用につきましては、下記までお問い合わせください。